

まかまのま

第一〇六号 〇三年三月日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 西六三三三八二

町内会連合会活動報告

本年度主要事業のまとめ

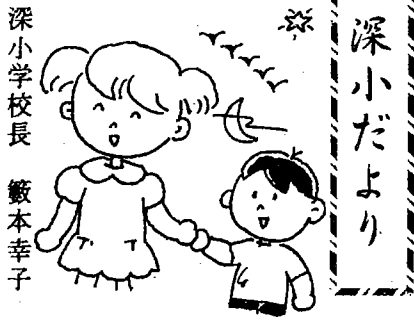
◇盆行事 八月十五日 深小学校に於いて、太鼓踊り、花火(下組担当)、盆踊り、やっさ踊り、ビンゴゲーム(上組担当)、夜店で楽しみました。

◇市民体育大会 十月十三日 二度めのBクラスとして出場し健闘むなしく僅差で再びCクラス落ちとなりましたが、Bクラスへの手応えを十分つかむことが出来たのが収穫でした。

◇敬老会 十月二十七日 七五才以上の一五人を招待し、三七人の出席でした。本年は、ともに劇団に出演してもらいました。

◇各行事に町民多数の参加を頂きましたが、今後も一層多くの方に参加を頂き、年々盛大となることを願っています。

(事務局)



深小だより 深小学校長 飯本幸子

厳しい寒さの中にも春の気配を感じる頃となりました。学校も三学期を迎えたばかりと思っておりますが、あつとこの間に三月となり十三名の卒業生を送る時となりました。今年度も町内のみならず、何かとご支援ご協力をいただき、大変感謝しております。

運動会・地域参観日・学習発表会・新春ふれあい広場・公開授業研究会等、大勢の方に参加していただき、またテーマタイムの時間やたいこ踊りなどでは指導もしていただきました。ありがとうございました。

子どもたちが自分の力を十分に発揮し伸びていくように、今後ともご支援をよろしくお願いたします。

深小学校・深幼稚園教育についてお気づきのことがあれば、いつでもお知らせください。

尚寿会の現状とお願い

尚寿会会長 幸谷清夫



一、尚寿会は深町の老人クラブであります。六十才以上の会員約四十人が、親睦と心豊かな老後の生きがいを見つめるために集まっています。

二、本年度の活動状況は次のとおりです。

- ・介護・救急研修(六月大池)
- ・奉仕活動(八月神社清掃)
- ・日帰り旅行(九月竹原簡保)
- ・市老連見学旅行(九月岡山)
- ・市老連運動会(十月和田)
- ・忘年会(十二月道後温泉)
- ・新年会(一月健康ランド)
- ・ふれあい広場(一月深小)

三、活動の目標

高齢者は誰でも「昨日までピンピン」とりんざつたのに、今日ではもうコロッといきんざつた人の「という様な大往生を願っています。そうなるためには、気持ちにゆとりを持ち、生きがいを保持して充実した生活を続けたいです。

♪如水館中学高等学校
吹奏楽部
第六回定期演奏会
二案内

- 一、日時 三月二十三日(日)
- 開場 一時三十分
- 開演 二時〇〇分
- 二、場所 三原市文化会館 大ホール
- 三、入場料 無料



吹奏楽部保護者会より一言

本吹奏楽部は、第25回全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門に「広島県代表」として出場しました。

尚寿会は、老人特有のこの様な問題に対応するために、会員や他の人と交流することによって、人と話すことの大切さを感じ、情報交換し、新しい知識を吸収します。又、旅行によって親睦を深め、名所旧跡や料理を楽しみ、運動することによって身体活力を維持する等の活動を続けています。

これ等の活動が、寝たきり・ボケ・うつ等の解消につながることを願っています。



四、高年齢の方へのお願い

皆様方には、家庭的、経済的問題や農業維持等の理由で時間の制約も多いかと存じますが、尚寿会へ加入下さって月一回位の活動を共にして頂き、働く時は働き、休む時は計画的に休むというメリハリの効いた生活を仕上げて有意義なものとするために協力ください。

なお、負担して頂く年会費は三〇〇〇円となっております。

五、壮、青年層へお願い

(一)ご家庭に六十才以上の人が居られたら、尚寿会への入会をおすすめ下さい。

(二)あの人はよう遊びに行くのう、等と言わないで、日本発展のために一所懸命に働いて責任を果たし終えた人達が小休止していると思ってください。まだまだ他人の目を気にする人も多いですから。

又、第26回広島県アンサンブルコンテストにおいて、フルート四重奏・金管七重奏・打楽器四重奏の四チームが「金賞」を受賞しました。打楽器部門は県内最高得点を獲得しました。

この打楽器パートの中に深町出身者が二名います。

高田三穂子さんと成末香里さんです。二人とも仲良しで遅くまで頑張っています。

今、吹奏楽部員は総勢五十二名です。顧問の千鶴高弘先生の熱心な御指導のもとに毎日頑張っています。練習した証拠を迫力ある演奏にして聞かせることができると是非御来場ください。是非御来場ください。

親が早く老けこんで寝込んでいたら若い人も大変ですぞ！

六、お礼

毎年、町内会連合会から五万円の補助金を頂いていますが、収入の少ない尚寿会会計にとっては大変有り難く深く感謝しています。



深町各種団体三月行事予定

小学校・幼稚園	六日
参観日	七日
集金日	九日
第三回廃品回収	十日
貯金日	十二日
第二中学校卒業式	十四日
六年生を送る会	十四日
P.T.A役員会	二十日
卒業式	二十五日
終了式	二十五日
女性会	第二水曜
親睦会	第三水曜
如水館	第一月曜
卒業式	第二日曜
中学校	十八日

展望席

深町から中之町へ抜ける峠の道が数年前、新たに開通し、大変便利になりましたが、しかし一方、この県道沿いにアキカンのポイ捨てが目立つようです。ある町では、「アキカン」を捨てるのは「アキカン」から「アキカン」になって、「アキカン」捨てて「アキカン」の立て札を立てても効果がなく、「あんたの要らんものはわしも要らん！」と口づけかわした仲なのに、捨てるなんて！」と書いてあるところもあるらしい。

アキカンを捨てる人はどんな気持ちで捨てているのか。カンが田んぼに落ちると田んぼで働く人にとって危険。アキカンを皆で拾って歩いていることも知ってるはず。なんとも思わないのか？ 批判はアキカンを捨てた人に集中するのは当然ですが、このカンを作っているメーカーへの批判はほとんど聞いたことがありません。

カンジュースやカンピールのメーカーは、アキカンの始末を小売店や消費者に任せっぱなしで、子をカンドウした親のようにならんと顔を上げて、何らその責任を果たしていないように思われます。メーカーもアキカンの問題はよく承知しているはずで、拾ったアキカンはメーカーに送り返したい気もします。

行政もメーカーに対してどんな指導をしているのだろうか？ 皆でカンガエてみたいと思

